

銘柄コード:2669



カネ美食品株式会社

2018年3月期 決算説明会

本資料に記載されている今後の業績見通し及び各情報などは、現段階における入手可能な事項と、当社が十分合理的であると判断した事項に限って記載を致しております。

今後起こり得る各要因によって、当社の今期計画の予定及び業績が著しく異なってくる可能性も有り得ますので、その点を踏まえてのご参考資料として頂ければ幸いです。



【本資料に関するお問合せ先】

カネ美食品株式会社 総務部TEL (052)879-6113(直)

E-mail: soumu-ir@kanemi-foods.co.jp

URL: <http://www.kanemi-foods.co.jp>

テナント事業

- ・スーパーマーケットを中心に、百貨店や駅ナカなどへ出店
- ・東海地方を中心に関東、関西に店舗展開
- ・地域や周辺環境に合わせ、柔軟な対応ができるよう様々な業態やブランドを展開

【出店先】

■スーパーマーケット	255 店舗
ユニー(アピタ・ピアゴ)、MEGAドン・キホーテUNY	240 店舗
その他(アオキスーパー、オオゼキ等)	15 店舗
■百貨店・駅ナカ・駅ビル等	32 店舗
百貨店	12 店舗
駅ナカ・駅ビル	17 店舗
その他(商業施設等)	3 店舗
■外食店舗	3 店舗
寿司御殿	3 店舗



アピタ横浜綱島店



eashion シャポール本八幡店

外販事業

- ・東海地方を中心に関東、関西等に16工場を配置
- ・コンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり・パスタ等を製造
- ・鉄道会社が運営するコンビニエンスストアへ納品する弁当・おにぎり等を製造
- ・地域の生活協同組合から、主に夕食宅配弁当の製造を受託

【納品先】

■コンビニエンスストア

ファミリーマート 9,162 店舗
サークルK、サンクス

■鉄道系コンビニエンスストア

NewDays、KIOSK(JR東日本リテールネット) 624 店舗

■宅配関連

コープみらい、おおさかパルコープ、コープあいち 等 全8カ所の生活協同組合



コンビニエンスストア



NewDays

2018年3月期 決算概況

業績の状況

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	88,258	100.0	90,233	100.0	102.2
テナント事業	44,768	50.7	44,030	48.8	98.3
外販事業	43,490	49.3	46,203	51.2	106.2
営業利益または 損失(△)	498	0.5	△1,167	—	—
経常利益または 損失(△)	582	0.6	△1,062	—	—
当期純損失(△)	△514	—	△932	—	—

(注)売上高は各事業のセグメント間の内部売上高を除いて表示しております。

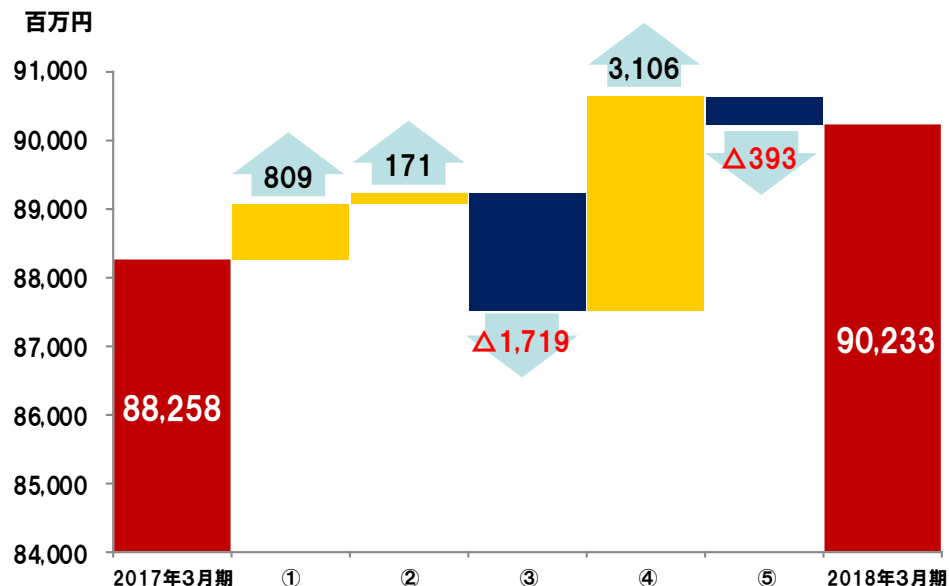
セグメント別の業績の状況

(単位:百万円)

		2017年3月期		2018年3月期		
		実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前期比 (%)
テナント事業	売上高	44,768	100.0	44,030	100.0	98.3
	ユニー店舗	37,636	84.1	36,659	83.3	97.4
	その他店舗	7,132	15.9	7,370	16.7	103.3
	セグメント利益	1,639	3.6	1,710	3.8	104.3
外販事業	売上高	43,490	100.0	46,203	100.0	106.2
	ファミリーマート	38,743	89.1	41,849	90.6	108.0
	鉄道系コンビニ	2,326	5.3	2,050	4.4	88.1
	宅配	2,073	4.8	2,022	4.4	97.5
	その他	346	0.8	281	0.6	81.2
	セグメント損失(△)	△1,133	—	△2,878	—	—

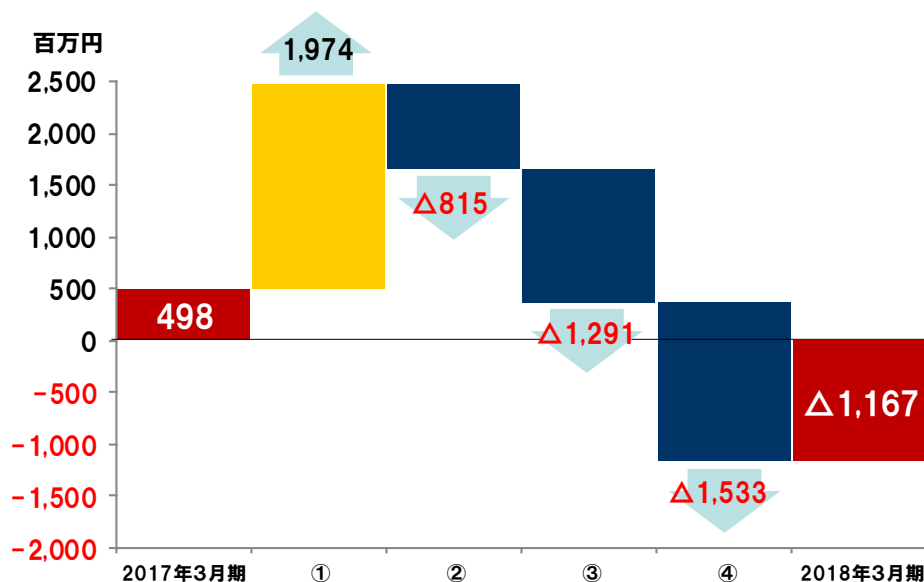
売上高と利益の増減要因

売上高



2017年3月期	88,258 百万円
①テナント 新設店舗による売上増加	809 百万円
②テナント 既存店舗による売上増加	171 百万円
③テナント 廃店および一時閉店による売上減少	△1,719 百万円
④外販 コンビニエンスストア部門の売上増加	3,106 百万円
⑤外販 その他部門の売上減少	△393 百万円
2018年3月期	90,233 百万円
増減額	1,974 百万円

営業利益



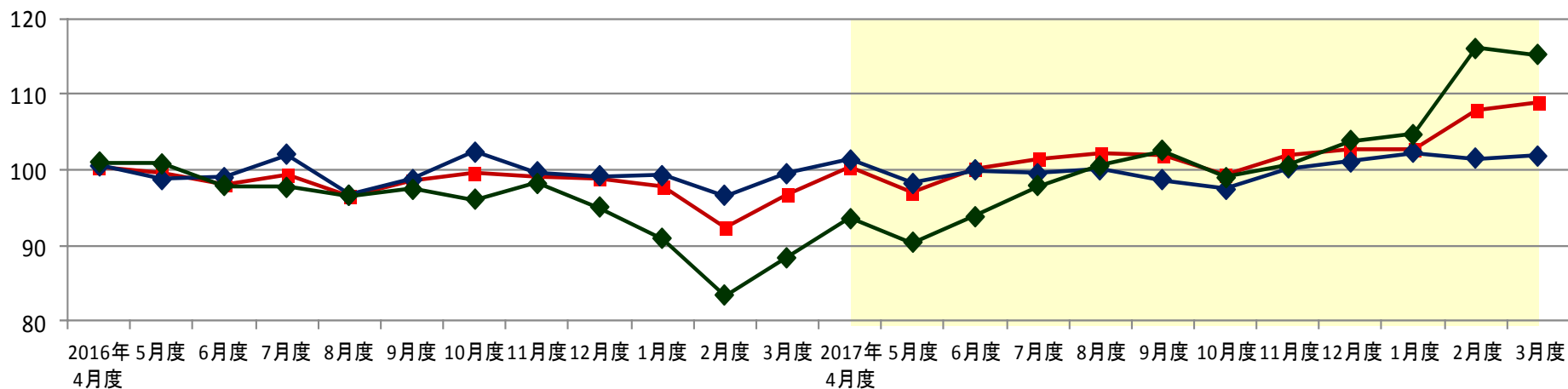
2017年3月期	498 百万円
①売上高の増加	1,974 百万円
②仕入高の増加	△815 百万円
③人件費の増加	△1,291 百万円
④その他経費の増加	△1,533 百万円
2018年3月期	△1,167 百万円
増減額	△1,666 百万円

月次売上高 前年比

		2018年3月期													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期累計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期累計
全社合計		100.3	97.1	100.0	101.3	102.3	101.9	100.5	99.4	101.8	102.8	102.8	107.9	108.9	102.2
テナント事業	合計	102.1	98.5	100.6	99.3	98.6	95.5	99.1	94.5	97.4	98.5	98.2	96.9	99.5	98.3
	既存合計	101.3	98.2	99.9	99.5	100.0	98.6	99.6	97.4	100.2	101.1	102.2	101.5	101.8	100.2
	ユニー店舗	101.5	98.3	100.2	99.9	100.7	98.7	99.9	97.7	100.0	101.1	102.3	101.6	102.1	100.4
	その他店舗	100.4	97.6	98.4	97.2	96.1	98.0	98.0	96.1	101.0	101.2	101.3	101.0	100.6	99.2
外販事業	合計	98.6	95.8	99.4	103.1	106.3	108.1	101.9	104.4	106.0	108.1	108.3	119.9	118.5	106.2
	既存合計	93.6	90.4	93.9	97.8	100.5	102.5	96.5	99.0	100.6	103.8	104.7	116.1	115.2	101.2
	ファミリーマート	99.2	96.3	100.4	104.2	107.6	110.4	103.0	105.8	108.5	111.0	110.1	123.9	121.5	108.0
	その他	93.3	91.5	92.1	93.4	95.4	89.0	92.7	93.2	87.5	84.4	93.1	91.1	93.8	91.7

(注) 1. 既存店舗の区分は、開店月より14ヵ月経過した店舗と定義しております。
 2. 上表の累計数値は、会計上の修正額を含めて計算しております。

■ 全社合計 ◆ テナント事業 既存店舗合計 ◆ 外販事業 既存工場合計



貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

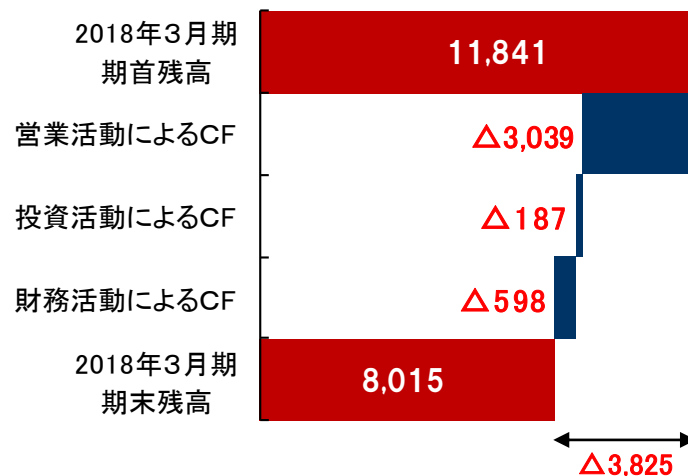
(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減
流動資産	18,454	19,421	967
現金及び預金	11,841	8,015	△3,825
売掛金	4,986	10,137	5,150
たな卸資産	488	479	△9
その他	1,136	789	△347
固定資産	16,790	15,081	△1,709
有形固定資産	13,523	13,233	△289
無形固定資産	113	94	△19
投資その他の資産	3,154	1,754	△1,400
資産合計	35,244	34,502	△741
流動負債	7,950	9,323	1,372
固定負債	352	368	15
負債合計	8,303	9,692	1,388
純資産合計	26,941	24,810	△2,130
負債・純資産合計	35,244	34,502	△741
自己資本比率(%)	76.4	71.9	△4.5

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	250	△3,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,552	△187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△752	△598
現金及び現金同等物の増減額	△5,054	△3,825
現金及び現金同等物の期首残高	16,895	11,841
現金及び現金同等物の期末残高	11,841	8,015

(単位:百万円)



設備投資

(単位:百万円)

設備投資	2017年3月期	2018年3月期	
	実績	実績	主な設備投資の内容
テナント事業	324	169	新設14店舗、改装1店舗および店舗設備等の更新等
外販事業	4,350	1,744	新工場関連および生産設備の更新、増強等
その他	3	131	設備の更新等
合計	4,678	2,045	

テナント事業(出退店・改装の概要)			2017年3月期	2018年3月期			
業態	ブランド	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	
ユニ ー 店 舗	総合惣菜	Kanemi	205	9	18	1	196
	寿司専門	寿司御殿	33		1		32
	洋風惣菜	K-STAGE(ケイステージ)	10				10
そ の 他 店 舗	総合惣菜	Kanemi	9	1			10
		e'z mart(イーズマート)	5		1		4
		ease deli(イーズデリ)	4				4
	寿司専門	寿司御殿	0	1			1
	洋風惣菜	eashion(イーション)	29	3	2		30
	外食	寿司御殿	3				3
合計			298	14	22	1	290

※ユニー店舗の総合惣菜「Kanemi」の出退店には、「アピタ」「ピアゴ」から「MEGAドン・キホーテ UNY」に業態転換した6店舗を含んでおります。

設備投資：テナント事業(出退店・改装の内容)

出店	日付	業態	店舗名	区分	所在地
	4/5	洋風	eashion シャポー本八幡店	駅ナカ	千葉県市川市
	9/29	総合	納屋橋店	スーパーマーケット	名古屋市中区
	12/1	総合	アピタ松任店	スーパーマーケット	石川県白山市
	2/17	洋風	eashion アトレ川崎店	駅ナカ	川崎市川崎区
	3/2	洋風	eashion グランエミオ所沢店	駅ナカ	埼玉県所沢市
	3/30	総合	アピタ横浜綱島店	スーパーマーケット	横浜市港北区

「一時閉店および再出店」 ディベロッパーの改装・変更による	日付	業態	店舗名	以前のディベロッパー	所在地
	11/10	総合	バロー中津川店	アピタ中津川店(8/20閉)	岐阜県中津川市
	11/10	寿司	寿司御殿バロー中津川店	アピタ中津川店(8/20閉)	岐阜県中津川市
	2/23	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 大口店	ピアゴ大口店(1/3閉)	横浜市神奈川区
	3/9	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 東海通店	アピタ東海通店(1/14閉)	名古屋市港区
	3/16	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 座間店	ピアゴ座間店(1/8閉)	神奈川県座間市
	3/16	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 星川店	ピアゴ星川店(1/8閉)	三重県桑名市
	3/23	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 豊田元町店	アピタ豊田元町店(1/14閉)	愛知県豊田市
	3/30	総合	MEGA ドン・キホーテUNY 国府店	ピアゴ国府店(1/8閉)	愛知県豊川市

退店	日付	業態	店舗名	閉店理由	所在地
	4/9	総合	菱野店	ディベロッパー閉店	愛知県瀬戸市
	6/11	総合	中切店	ディベロッパー閉店	愛知県春日井市
	6/18	総合	アピタ館林店	ディベロッパー閉店	群馬県館林市
	6/25	総合	鹿山店	ディベロッパー閉店	名古屋市緑区
	7/31	洋風	eashion 千葉ペリエ店	ディベロッパー全館改装	千葉市中央区
	8/17	洋風	eashion ビーンズ武蔵浦和店	不採算店舗	さいたま市南区
	8/20	総合	上島店	ディベロッパー閉店	浜松市中区
	8/20	総合	アピタ黒部店	ディベロッパー閉店	富山県黒部市
	8/20	総合	アピタ岩槻店	ディベロッパー閉店	さいたま市岩槻区
	10/1	総合	アピタ初生店	ディベロッパー閉店	浜松市北区
	11/19	総合	上地店	ディベロッパー閉店	三重県伊勢市
	11/19	総合	滝ノ水店	ディベロッパー閉店	名古屋市緑区
	1/10	総合	イズマート 中央林間店	ディベロッパー改装	神奈川県大和市
2/18	総合	浅草店	ディベロッパー閉店	岐阜県大垣市	

改装	日付	業態	店舗名	改装内容	所在地
	4/28	総合	富士中央店	食品売場の改装に伴う当店改装	静岡県富士市

■ 決算期の変更について

- 2018年5月17日開催の取締役会において、2018年6月21日開催予定の第48回定時株主総会にて、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期を変更することを決議いたしました。
- 変更の理由
当社の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとしておりますが、親会社であるユニー・ファミリーマートホールディングス株式会社と決算期を統一することにより、決算業務及び経営計画策定並びに業績管理等の効率化を図るため、当社の事業年度を毎年3月1日から2月末日に変更いたします。
- 変更の内容
現在：毎年3月31日 ⇒ 変更後：毎年2月末日
※決算期変更の経過期間となる第49期事業年度は、2018年4月1日から2019年2月28日までの11ヶ月決算となる予定です。
- 業績見通しについて
2018年5月9日に公表した「平成30年3月期決算短信」においての第49期事業年度業績予想は、2018年4月1日から2019年3月31日までの12ヶ月決算として公表しておりましたが、上記のとおり、第49期事業年度は決算期変更の経過期間として12ヶ月決算から11ヶ月決算となるため、2018年5月17日に業績予想の変更をいたしました。

2019年2月期 業績見通し

(単位:百万円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年2月期 計画 (18.4.1~19.2.28 / 11ヶ月)	参考 ※ (18.4.1~19.3.31 / 12ヶ月)
売上高	85,580	89,939	88,258	90,233	82,945	90,562
営業利益または損失(△)	2,661	3,067	498	△1,167	483	601
経常利益または損失(△)	2,758	3,177	582	△1,062	548	668
当期純利益または純損失(△)	1,751	1,815	△514	△932	227	327
テナント事業						
売上高	43,308	44,948	44,768	44,030	40,531	44,152
セグメント利益	1,623	1,534	1,639	1,710	1,461	1,595
外販事業						
売上高	42,272	44,991	43,490	46,203	42,413	46,409
セグメント損失(△)	1,038	1,533	△1,133	△2,878	△977	△994

※ 参考数値として、2018年5月9日公表の決算期変更前(2018年4月1日 ~ 2019年3月31日の12ヶ月)の業績予想数値を記載しております。

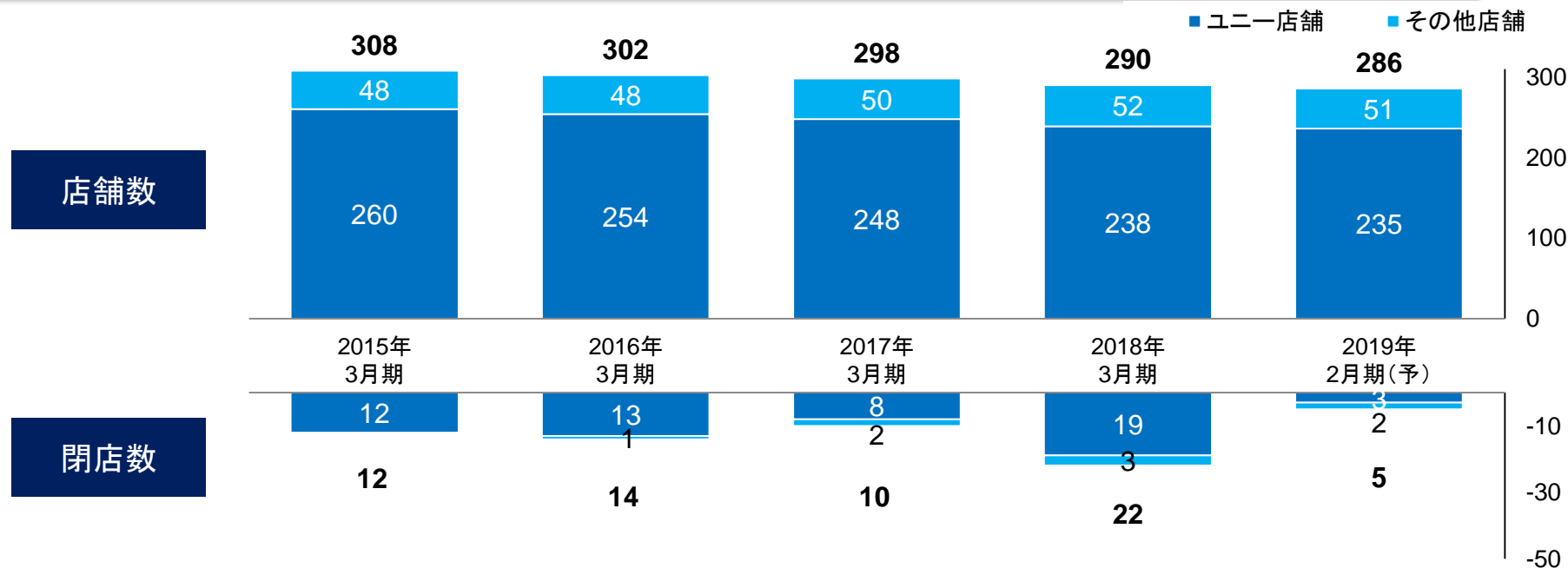
2019年2月期 設備投資計画

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年2月期	
	実績	計画	主な設備投資の内容
テナント事業	169	108	店舗設備等の更新等
外販事業	1,744	446	生産設備の更新および増強等
その他	131	98	設備の更新等
合計	2,045	654	

テナント事業 店舗計画			2018年3月期	2019年2月期 計画			
業態	ブランド	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	
ユ一 ー 店 舗	総合惣菜	Kanemi	196		3	1	193
	寿司専門	寿司御殿	32				32
	洋風惣菜	K-STAGE(ケイステージ)	10				10
そ の 他 店 舗	総合惣菜	Kanemi	10				10
		e'z mart(イーズマート)	4			1	4
		ease deli(イーズデリ)	4				4
	寿司専門	寿司御殿	1				1
	洋風惣菜	eashion(イーション)	30	1	2	1	29
	外 食	寿司御殿	3				3
合計		290	1	5	3	286	

テナント店舗の状況



業態	ブランド	2015年3月期				2016年3月期				2017年3月期				2018年3月期				2019年2月期(計画)				
		出店	退店	改装	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	出店	退店	改装	期末店舗数	
ユニー店舗	総合惣菜	Kanemi	4	6	1	209	7	5	2	211	2	8	6	205	9	18	1	196		3	1	193
	寿司専門	寿司御殿		6		41		8	1	33				33		1		32				32
	洋風惣菜	K-STAGE				10				10			1	10				10				10
その他店舗	総合惣菜	Kanemi				8	1			9			1	9	1			10				10
		e'z mart				4				4	1			5		1		4			1	4
		ease deli				4				4				4				4				4
	寿司専門	寿司御殿				0				0				0	1			1				1
	洋風惣菜	eashion	2		1	29		1		28	3	2	3	29	3	2		30	1	2	1	29
外食	寿司御殿				3				3			1	3				3				3	
合計			6	12	2	308	8	14	3	302	6	10	12	298	14	22	1	290	1	5	3	286

※2018年3月期の出退店数には、ディベロッパーの変更に伴う一時閉店および再出店8店舗を含みます。

**2018年3月期 業績総括
および今後の見通し**

○ 全体

- ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)の子会社に(7/20付)

○ テナント事業

- **新規出店 14店舗、閉店 22店舗**(ディベロッパーの変更に伴う一時閉店および再出店8店舗を含む。MEGA ドン・キホーテ UNY 6店舗、パロー 2店舗)

- ・ 新規出店 / 総合惣菜 10店舗、寿司御殿 1店舗、洋風惣菜「eashion」3店舗

⇒ MEGA ドン・キホーテ UNY店舗は、業態転換後、売上・客数ともに大幅に増加。

当社店舗では、店内調理にこだわった品質の追求と、新たに大容量の「メガ盛」商品を採用し好評を得ているが、店内競争も増えたことにより、売上は前年と比べ減少。

- ・ 閉店店舗 / 総合惣菜 19店舗、寿司御殿 1店舗、洋風惣菜 2店舗

⇒ 大半が不採算店舗であったため、売上は減少したが利益額は前期を上回る

- **継続的な品質の向上、販売力および接客サービスの強化による
既存店舗のさらなるレベルアップ**

- ・ 営業基本方針「品質」「清潔」「接客」の徹底

- ・ 毎週末、売場の核となる「販売強化商品」「販売数量」の設定および徹底的な売り込み

⇒ 店舗の規模に応じた細かな取り組みへと進化



MEGA ドン・キホーテ UNY 店舗



eashion グランエミオ所沢店

○ 外販事業

－ 売上高の増加と利益面の改善

- ・ 各工場における製造方法の見直しや人員配置の適正化による製造効率の向上
- ・ 商品統合当初の混乱回避のため大量投入した人材派遣の適正化による人件費の抑制
- ・ 調理パンやサラダに使用する野菜の自社加工による荒利率の改善

⇒ 着実に改善しているものの、より一層の改善策が必要なことに加え納品店舗の減少もあり、売上高が下振れ

－ 2017年11月 上尾工場(埼玉県上尾市)を稼働

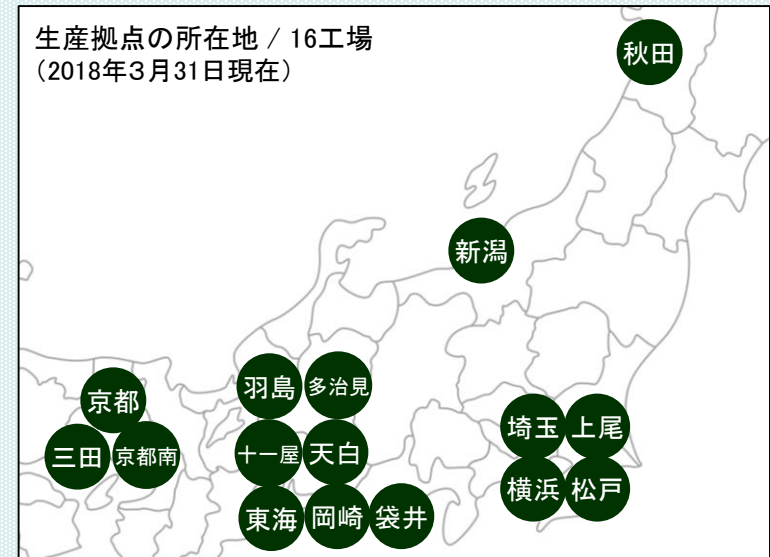
⇒ 関東地区での生産キャパの拡大と生産効率の向上による売上高の確保と利益面の改善を見込む。生協、JR等への生産拠点として稼働

－ 2018年 3月 津工場(三重県津市)を閉鎖

⇒ 周辺の既存工場へ製造移管。受入工場の体制を再整備の上、生産性を高めることにより、外販事業全体としての収益回復を見込む

－ 継続的な品質の見直し、商品力の強化

- ・ 炊飯の品質向上 ⇒ 社内に専属担当者を選任。組合の専門チームとともに全工場の品質確認と改良を実施
- ・ 前期末に導入した炙り焼成機を活用したメニュー展開による食味の向上



○ テナント事業

- 新規出店の推進

- ・ 関東圏を中心とした駅ナカ、駅ビル、その他商業施設への出店に向けたアプローチ
- ・ MEGA ドン・キホーテ UNY 6店舗における分析や検証を行い、今後の展開に向けた土台づくり

- 既存店舗のさらなるレベルアップ

- ・ ユニー(株)と共同で「惣菜プロジェクト」を始動。惣菜売場を改革することによる食品売場全体の活性化が目的
- ・ 単品管理データの活用によるABC分析に基づいた各店舗の売場構成や販売計画の見直し

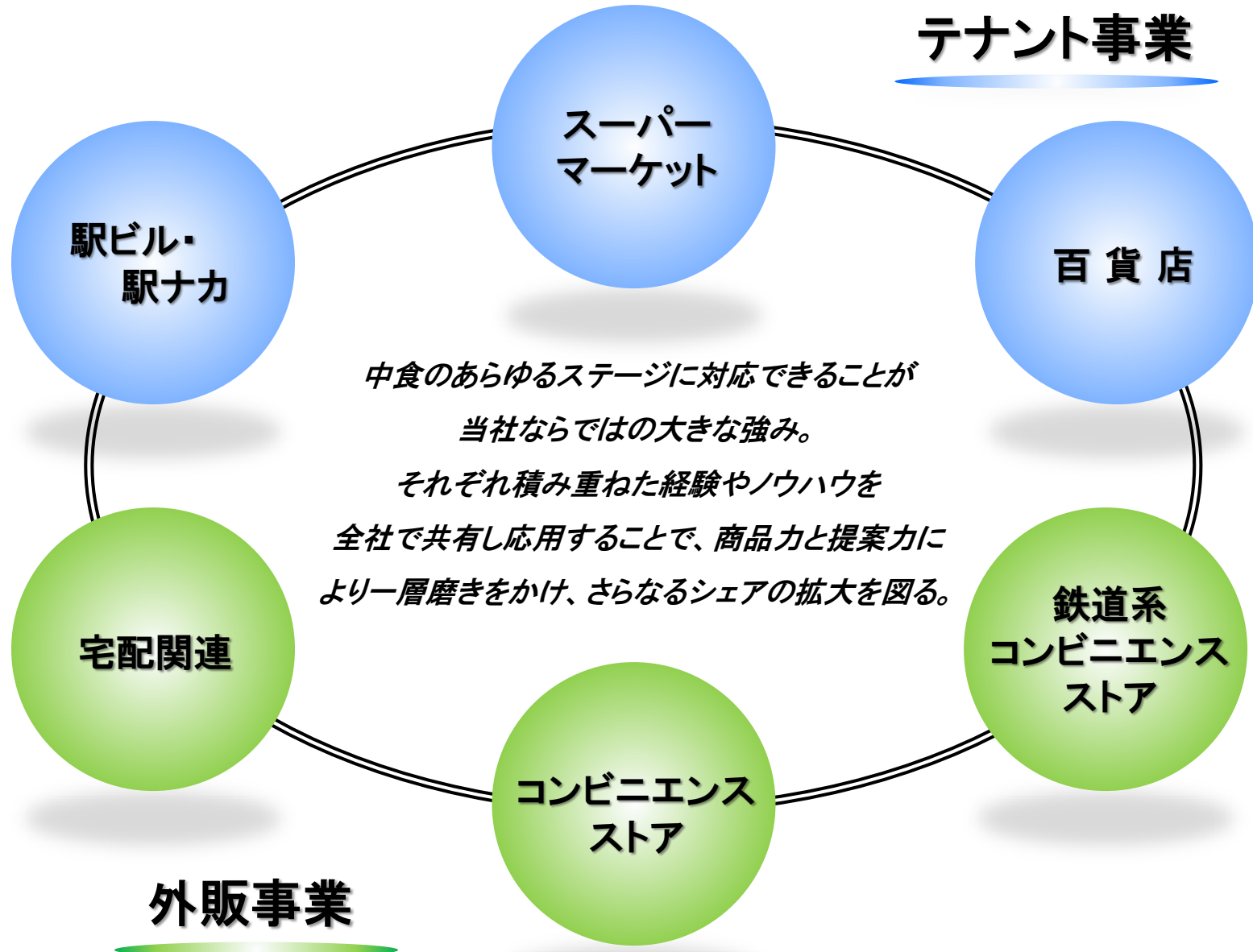
○ 外販事業

- 売上高の確保および利益面の改善

- ・ 工場ごとの生産体制の均一化や省人化による製造効率の向上 ⇒ 労務費の抑制
- ・ 工場ごとの製造品目の見直し ⇒ アイテム数と売上のバランスを検証し、利益率の高い商品の獲得を目指す
- ・ 三田工場(兵庫県三田市)を7月に閉鎖予定 ⇒ 津工場と同様に周辺の既存工場へ製造移管することにより、外販事業全体としての収益回復を図る

- 継続的な品質の向上

- ・ 当社の培ってきたノウハウを活かした独自商品の開発
- ・ 製造環境の整備および維持のための管理体制の再構築とルールの周知徹底 ⇒ 安心・安全な商品づくりの徹底



ご参考: 中食市場について

国内の中食(惣菜)市場規模は10兆円

中食市場は、これまで少子高齢化や核家族の進行、女性の社会進出などによるライフスタイルの変化により規模を拡大。

一方、成長性が見込まれるため、中食ベンダー・食品メーカー・SM等の参入増加により、競争環境が厳しさを増している。

当社は、この国内の中食市場内におけるシェアの拡大を図り、企業価値の向上を目指す。

求められているもの

日常性

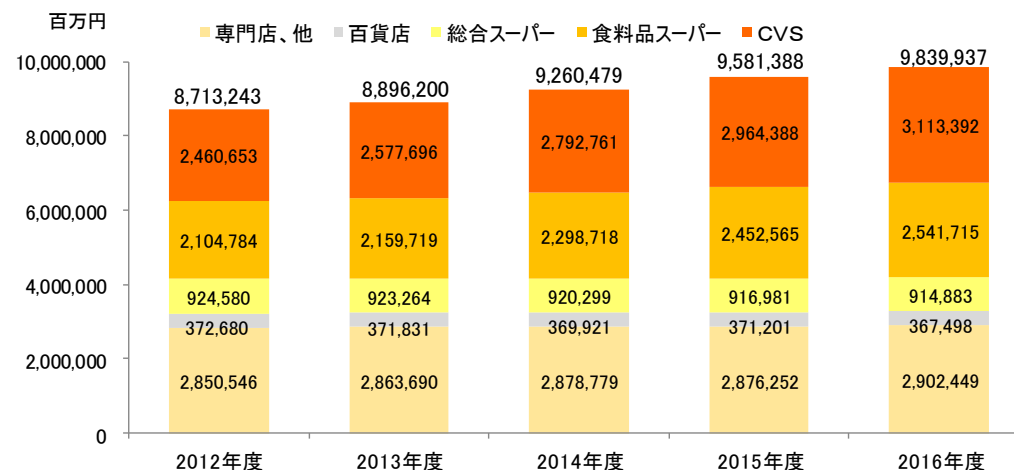
- 安心安全 → 品質管理、衛生管理
- おいしさ → 地域の自然の恵み(地産地消)
季節の恵み
鮮度
カロリーや栄養コントロール
- 手軽さ → 簡単調理
価格・ボリューム

非日常性

- 高付加価値商品 → デザイン性・ブランド力等
珍しい食材・高級食材
豊富なメニュー

【参考資料: 惣菜市場規模】

出所: 社団法人日本惣菜協会 2017年版惣菜白書



※ 専門店: 惣菜専門店(惣菜販売店、持ち帰り弁当店、仕出し弁当店、給食業者、駅弁売店、寿司販売店、おにぎり販売店、調理パン小売業(サンドイッチ、ハンバーガー等)、ピザ小売業(持ち帰り)など)、イトインコーナー併設惣菜店、受注後調理型惣菜店など

【参考資料: 年間の1世帯当たりの品目別支出平均金額(総世帯)】

出所: 総務省統計データ
(品目分類)第10表 年間収入五分位階級別1世帯当たり 品目別支出金額及び購入頻度(総世帯)

